

街暮らしの新たな魅力を見つけるために

街なかで自分らしく暮らす人にお話を伺いました。

陣内 知宏さん

Fablab Saga 代表

2年以上毎週続く 街なかのものづくりコミュニティ

呉服元町にある「Fablab Saga(ファブロボ サガ)」。3Dプリンターやレーザーカッターを使って、誰でも気軽にものづくりができる場所です。ここでは毎週火曜日の夜に「ロボ研」という活動が行われており、2年以上前から続いている。果たしていったいどんな活動なのでしょう？ロボット作り？

「ロボ研」というのは、わかりやすく言うと『Arduino（アルドゥイノ）』という初心者向けのマイコンボード（小型のコンピューター）をベースに使って、何か動くものを作ろうという集まりです。初めての方には、まず基本として LED をチカチカ光らせるさせる装置から作ってもらいます。その次はロボの一一番基本になるサーボモーター、例えばラジコンの舵を切ったりするのに使われているモーターですが、その動かし方と一緒に学びます。とりあえず決まっているのはここまでで、そこから先は参加者の好みに合わせて自由にものづくりを進めていきます。例えば最近では、「猫ロボット」（右写真参照）。これは猫のかたちをした、いわゆる見守りロボットですね。スマホを自作の猫型ボディに取り付けることで、その画面に目の役割を持たせます。そして別のスマホからリモート操作をして、画面上で見守りができるようにしていまして、遠隔で話しかけることもできます。ただし今は制作途中なので、見た目は完全な猫型になっていませんので、もっと猫っぽく見えるようにみんなで試行錯誤している段階です。あと他にはロボ研初期につくった卓球マシンの改良なども。これはゴミ箱のサイド下の部分に穴をあけ、そこから球が出て一人で練習できるようになるマシンです。実はこれもスマホで遠隔操作ができ、球のスピードを変えたりできるようになっています。それとこれも興味深いですが、鳥栖から通われている女性の作品で、猫のぬいぐるみみたいなロボです（右写真参照）。

ぬいぐるみの動画をPCの画面で見せてもらった。猫の首が左右に動く。しっぽが動く。そして頭を触ると「にゃー」と泣く・・・そのリアルさにびっくり。初心者の作品？

「その女性は毎週通って3～4ヶ月と、割と短い期間で作られました。プログラミング等は全く知らない方だったんですが、まず基本の部分を私が教えて、その後猫の声を出すところは別の方が教えられ、猫のぬいぐるみ部分（外の毛の部分）は作れるス



キルをお持ちだったので、ご自分で。それぞれの得意技を結集して第一号が完成しました。今は第二号を作っている最中なのですが、次は頭としっぽだけでなく、前足やまぶたもつけて動かそうとしているんです！このようにロボ研には、専門知識を持った人だけでなく、初めての方も来られます。新しく参加される方から教わることもありますし、知っていることをみんなで教えてあげるというのは、すごい力になりますね。

こんなロボ研をコーディネートする陣内さんは、元々東京でシステムエンジニアに従事。震災等をきっかけに故郷の佐賀へ戻ってきたそう。在職時代のある時、3Dプリンターでレーザーカッターでものづくりができる Fablab という拠点が世界中で広がっているという話を聞いたときに、ビビッときたとのこと。「誰でも気軽にものづくりができる場所」、それが Fablab Saga。これからも、ものづくりに興味を持つ人達の、大事なコミュニティスペースであり続けて欲しいと思います。（庄野雄輔）



▲ 猫の見守りロボット。表面は制作▲ 毎週平均5～6名の方が集まる▲ 真ん中が動画で見せてもらった猫ロボ

[INFORMATION]
ロボ研 ●開催日時／毎週火曜18:00～21:00頃●会場／Fablab Saga(佐賀市呉服元町2-30)●問合せ先／Fablab Saga (☎0952-97-7664)●HP <https://www.facebook.com/FabLabSaga/>
※ロボ研のほかに「とびもの研」という飛行機など「とびもの」をテーマにした会も定期的に開催。

地域とともにくすり屋108年
ミズ・溝上薬局

鎌田實の
「がんばらない
健康長寿実践塾」
がはじまります。
～健康長寿日本一 佐賀県を目指して～

この塾は、鎌田實先生の指導による食生活改善、運動療法の実践、生活習慣病の予防など、日々の生活中でこれまでの習慣を変えていく「行動変容」の実践塾です。

平成30年8月1日(水)
開演 10:30～（開場：9:30）
お問い合わせはミズ本社へ
☎0120-22-7911
佐賀市文化会館 大ホール
(佐賀市日の出1丁目 21-10)

概要

街なかかわらばんさが INFO ごあんない

ご意見・ご感想、お問い合わせはコチラへ

街なかかわらばんさが 編集室

TEL 0952-22-7340

FAX 0952-22-7346

MAIL kawaraban@humanite-saga.com

新しいことを始めるのも大事ですが、続けていくこと、そして試行錯誤していくことはもっと大事ではないかと思います。でもそれが街なかの価値向上に繋がるはず！
(編集長 庄野雄輔)

●アートディレクション／デザイン／松本健児(PINEBOOKS)●イラスト／山本翔(CIEMA)●ライター／清家麻衣子、
庄野雄輔、百武涼那、谷口幸恵、茶園彰

人とまちをつなぐ新聞

街なかかわらばんさが

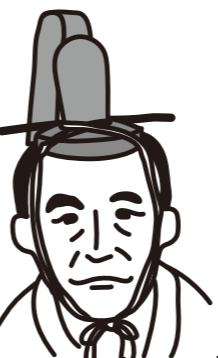
TAKE FREE

2018.7.15 号
no.32
Machinaka Kawaraban

街なかのおすすめ賃貸情報更新中!
www.kawaraban-web.com

続く・街なかの “ムーブメント”

MACHINAKA
MOVEMENT



比較的ゆったりとした空気が流れている佐賀の街なかでも、日々新しい動きや面白い企画が生まれています。その中には一回で終わるものではなく、回数を重ねている企画やアイデアがたくさんあります。そこに込められているのは、佐賀の地域資源を大事にしたいという思いであったり、店主のアイデアや努力、そして新しいカルチャーを店から発信したいという気概だったり。単に目新しさを狙うのではなく、ちょっとした「遊び心」が込められながら継続していく企画は、きっと街と心を動かす“続く・ムーブメント”であるはずです。



▲ 賢人がまちあるきの道中に隠された歴史的エピソードを紹介したり、偶然出会った人から突然話しかけられて楽しくおしゃべりしたり。「歩く」ことでしか得られない魅力が満載です。

そして今回、この企画の経緯と想いを桜井篤プロデューサーから直接聞くことが出来ました。「八賢人のまちあるき」の原点は、2010年春から2年間実施された夜のまちあるき企画「佐賀のお城下ナイトウォークツアー」です。このツアーで初めて八賢人を演出に組み込み、河童や恵比須、佐賀の歴史や伝説なども織り交ぜながら佐賀の魅力を伝え、とても高い満足度を獲得しました。その後本丸歴史館で毎週日曜に「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」の寸劇を始めるようになりました。それらの活動が背景にあり、維新博開催と併せて今回のまちあるきがスタートしたんです。維新博ではメイン会場から柳町まで、若干距離がありますよね。この距離を自然や建造物にもスポットを当てながらナビゲートすることで、歴史的な面だけでなく、多方面から佐賀を楽しめるように思っています。徒歩で回るからこそ出会いや人との交流は、特に県外の方にとっては貴重な思い出になりますよね。維新博だからもっと何か新しい魅力を、というより、今あるものをいかに魅力的に外に伝えていくか、ということを意識しています。

郷土愛は知識を詰め込むものではなく、先ずは身近なところから「素敵！」「面白い！」「好き！」と、人に話したくなることを発見していくことなんだと思います。まち歩きをしたあとは、「佐賀さいこう！」ときっと言いたくなるでしょう。一人で、グループで、夫婦で、家族で、何度も参加することをぜひオススメします！

[INFORMATION]
八賢人まちあるき ●企画／一般社団法人魅力発掘プロデュース協会●主催・問合せ先／佐賀県維新博運営本部(☎0952-37-0181)

雨天でまちあるきができない場合は…
旧牛島家にて雨天特別企画

「ハ賢人と佐賀ばなし」が行われます。

街なか徐々に広がる
エンターテイメントやアクティビティ、
ショッピング発の企画など

記者
移住6年目女ライター
清家麻衣子

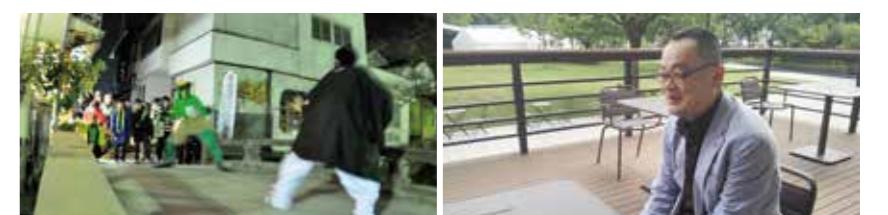
01 毎日開催! 参加費無料!
維新博メイン会場～柳町の面白ツアー

八賢人まちあるき

背前が暮末維新博覧会の10ヶ月間、毎日開催されている「八賢人まちあるき」。これは佐賀の八賢人の一人がそれぞれ日替わりで、維新博メイン会場～リアル弘道館間を案内する企画です。体験取材したこの日は、佐賀藩第十四代藩主 鍋島直正公に案内して頂きました。街なかのスポットや建造物などに隠されたエピソードも聞くことができ、歴史に詳しくない人でも楽しく参加できます。徒歩で回るからこそその交流やハプニングもまた新鮮です。

『なおまさ～!!』、横断歩道の信号待ちの際、通る車から子どもの声援が！
『サムライ? 刀は?』、観光中の外国人も興味津々です。
『一緒に写真いいですか?』、子連れのママさんと、嬉しそうな男の子。

この日は、一緒に回った子ども達の知識に驚きました。聞けば4年生だそうですが、お濠の長さや鍋島藩の家紋の由来まで得意満面に語る姿に、参加した大人全員、すっかり話に聞き入ってしまいました。すると佐嘉神社の前で、直正公から興味深いエピソードの紹介が。「佐嘉神社は、鍋島直正と息子の直大が祀られています。神社から直大の大砲の音がしますよね？神事に大砲が使われているんです。いかに直正が技術開発に熱意を持って取り組んでいたか、よく表していますね」。結局、維新博のメイン会場から松原神社、呉服元町、柳町をみんなでワイワイと歩く30分はとても楽しく、本当にあつという間に過ぎていきました。



▲ 佐賀のお城下ナイトウォークツアーのコマ

▲ まちあるきを企画した桜井篤プロデューサー

「ハ賢人とまちあるき」のすすめ

- スケジュール／1日6回、毎日実施。
- 参加費／無料！(毎回先着12名まで)
- コース／リアル弘道館前～松原神社～維新博メインパビリオン前(往路または復路)
- 散策時間／約30分間の予定(約1Km)
- 出発予定時刻
 - ①10:20 リアル弘道館⇒メイン
 - ②11:30 メイン⇒リアル弘道館
 - ③12:50 リアル弘道館⇒メイン
- 受付
 - ①③⑥当日リアル弘道館前の旧牛島家
 - ②④⑥当日維新博メインパビリオン前

【まちあるきをナビゲートしてくれる八賢人達】



※各賢人は写真的役者の他6名の役者が演じられています。